



ストレスがあると胃潰瘍になる可能性があるの？



「潰瘍」とは胃壁などの粘膜を守るため粘液を分泌するなどの防御反応が働きこれがうまく作用しないと粘膜に炎症が起きえぐられて起きる事です。

胃液や粘液の分泌は自律神経やホルモンなどに影響されています。ところが過度なストレスを受け続けると分泌コントロールに乱れが生じ胃液が過剰に分泌されたり防御作用がうまく働かなくなりその結果潰瘍を起こしてしまうのです。

仕事、プライベートなことで悩み続けたり、過労、食欲不振、睡眠不足などでさらにストレスがかかると胃潰瘍・十二指腸潰瘍にかかりやすくなると言われています。

しかし、発症にはかなりのストレスがかからないなりません。主な原因はピロリ菌と非ステロイド系消炎鎮痛薬です。ピロリ菌は口から入り胃に住み付き悪さをします。感染しているか検査をし感染している場合はお薬で除菌します。非ステロイド系は長期にわたり服用すると潰瘍を起こしやすく今は高齢者の服用で問題になっています。処方薬だけではなく市販薬にもあるので自己判断で長期の服用は気を付けましょう。